

理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

基本方針

- 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- 二次医療を中心に担当します。
- 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

聴診

で何がわかる?

初期臨床研修医 湖山 恵多

診察室で誰もが一度は目にする聴診器。

しかし、それを使って医師や看護師などの医療従事者が
実際に何をしようとしているのかを知っている方は少ないかもしれません。

聴診器はどんな道具?

聴診器は、体から出る音を聞くための道具です。私たち医療者がみなさんの身体に聴診器を当てているとき、その皮膚の下にある臓器の音を聞いています。例えば、みなさんの胸の中央には心臓という臓器があります。心臓は全身に血液を送り出すためのポンプの役割を持っており、いつでも一秒も休むことなく動き続けています。胸に聴診器を当てると、正常な人ならドクン、ドクンと規則正しい心音が聞こえます。臓器が発するこのような音に異常がないかどうかを調べることが、みなさんの身体に起きている問題を解決する重要な手がかりになるのです。

もう少し詳細なお話

ヒトの胸部には心臓のほかに肺という臓器があり、生物が生きるのに必要な酸素を空気と血液の間で

交換する仕事をしています。胸部に聴診器を当てた状態で深呼吸をしていただくと、肺の中にある気管支を空気が通る音が聞こえます。正常な肺では澄んだ音が聞こえ、雑音はありません。しかし、喘息の発作がある方や、長年の喫煙などが原因でCOPD(慢性閉塞性肺疾患)に罹患されている方は、気管支の幅が狭くなっているため、ヒューヒューという笛音が聞こえます。あるいは、肺炎が原因で気管支に痰が詰まっていたり、心臓の機能が低下したことで肺に水が溜まっていたりすると、プツプツ、ゴロゴロといった水泡音を聞くことができます。このように聴診で音を聞くだけで診断に繋がる情報を手に入れることができるのです。

聴診は一見すると何をしているのかよく分からない診察ですが、実は大切な役割があるということを知っていただくと幸いです。こういった診察を今後も丁寧に行わせていただき、皆さまのお困りごとを解決できるように尽力してまいります。

来院の際の利便性向上を目指して!

診察状況お知らせ & らくらく会計

サービスはじめました



当院では、患者サービスの向上として、「診察状況お知らせ」機能と、後払い会計機能「らくらく会計」を持ち合わせたスマートフォンアプリを利用したサービスを開始しています。

サービスをご利用になるには

1 スマートフォンにアプリをインストール

「診察状況お知らせ」および「らくらく会計」のサービスをご利用になるには、お持ちのスマートフォンにアプリをインストールする必要があります。

アプリ「HOPE LifeMark-コンサルジュ」をダウンロード

iOS ▶



Android ▶



2 窓口で利用登録(初回のみ)

アプリインストール後に当院の窓口で初回登録が必要です。インストールするだけではご利用になれませんのでご注意ください。

詳しくは・・・

リーフレット

はじめの登録ご利用案内(PDF)



診察状況のお知らせとは

受診の順番が近づくとアプリでお知らせします。診察受付後、受診までの待ち時間を有効にご利用いただけます。

※ アプリからの通知を許可しておく必要があります。

らくらく会計とは

アプリにクレジットカードを登録しておき、受診日に後払いの利用を選択することで、受診後に会計の待ち時間なしに、スムーズに帰宅することができます。また、アプリから過去のお支払い履歴を確認することもできます。

※ 領収書と診療明細書は、受診日の7日後以降に窓口で印刷することができます。

※ 診療内容によっては、「らくらく会計」がご利用になれない場合があります。

らくらく会計の流れについては・・・

リーフレット

らくらく会計ご利用案内(PDF)



アプリを利用した診察の流れ、アプリに関する各種パンフレットや簡単なQ&Aなどは、当院のホームページをご確認ください。



鳥取市立病院アプリ「HOPE LifeMark-コンサルジュ」
<https://hospital.tottori.tottori.jp/2868.html>

令和5年度 職場体験学習



ワクワクさくら・ワクワク江山

新型コロナウイルス感染症の規制緩和により4年ぶりに再開となりました!

令和5年6月27日から「ワクワクさくら」、「ワクワク江山」職場体験学習が行われ、桜ヶ丘中学校の生徒3名は4日間、江山学園の生徒2名は3日間当院で職場体験をしました。看護師のユニフォームを身にまとい、看護師や看護補助者など病院で働いている人たちがどんな仕事をしているのか、実際に仕事体験をしたり、院内見学を行いました。

参加した生徒からは、「看護師さんは忙しい中で

も患者さんと向き合って話をしている姿が印象に残った」、「とても楽しく、貴重な時間だった」、「さまざまな役割や仕事があり、病院が成り立つうえでどれも欠かすことができない仕事だと分かった」などの感想をいただきました。

職場体験学習お疲れ様でした!この体験から、将来医療職の道を選んでいただけたら大変うれしく思います。



血圧測定「巻いていきまーす」



看護師さんと一緒に患者さんの病室へ



防護具を装備し、手術器具に触れました

第90回 鳥取市立病院 医療講演会

本講演会は、みなさんの健康づくりに寄与することを目的に開催しています。



演題 今、知ってほしいタバコの話
～最近の禁煙治療～

公立浜坂病院 総合診療科 部長 廣谷 茜

報告 タバコに関する
アンケート調査報告

鳥取市保健所健康子育て推進課
健康づくり係 保健師 堀村 由佳

開催日時 令和5年7月22日 土
10:00～11:30

会場 さざんか会館5階 大会議室
(鳥取市富安2丁目104-2)

駐車場は、さざんか会館駐車場および鳥取市役所駅南庁舎駐車場をご利用ください。

定員 100名程度

お問い合わせ 地域医療総合支援センター
TEL. 0857-37-1522